

# 豊能医療圏 がん医療ネットワーク協議会 活動報告

[平成30年(2018年)3月23日 大阪府がん診療連携協議会 資料]

市立豊中病院

大阪大学医学部附属病院

# 組 織 図

豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会

がん登録部会

緩和ケア部会

がん検診情報部会

がん地域連携部会

がん研究部会

## 【参加団体】

- ◆医師会
- ◆保健所
- ◆市町がん検診担当課
- ◆ホスピス・在宅診療所
- ◆がん診療(連携)拠点病院

# がん登録部会

〔平成29年度(2017年度)活動報告〕

## 1. 胃がんの院内がん登録データを用いた現状分析

平成25年(2013年)～平成27年(2015年)症例の院内がん登録データから、地域・年齢・発見経緯等のベンチマークを作成し、自施設の登録状況の把握と豊能医療圏での胃がんの現状について比較、分析を行った。

## 2. 院内がん登録の精度管理

院内がん登録や全国がん登録について情報交換を行った。

# 胃がんの院内がん登録データを用いた現状分析

## 豊能医療圏の現状

年齢階級別・発見経緯割合:

40代でがん検診・健康診断・人間ドックでの発見割合が高かった。これは、市民検診が40代からであることによるものと思われる。

年齢が高くなるにつれ、他疾患経過観察中に発見される割合が高くなっている。

ステージ別・発見経緯割合:

ステージが低い場合はがん検診・健康診断・人間ドックでの発見が多く、ステージが高い場合は症状受診での発見が多かった。

地域別・臨床ステージ割合: 5割以上がステージ I であった。

## 全国・大阪府との比較

胃がん臨床ステージ割合:

豊能医療圏でのステージ I の割合が全国・大阪より高かった。

# がん登録部会

〔平成30年度（2018年度） 活動目標〕

## 1.大腸がんの院内がん登録データを用いた現状分析

がん登録法制化に伴い登録ルールが変更されたため次年度は、平成28年（2016年）、平成29年（2017年）の2年分の院内がん登録データから、地域、進行度や治療内容等のベンチマークを作成し、自施設の登録状況の把握と豊能医療圏での大腸がんの現状について比較し分析を行う。

## 2. 院内がん登録の精度管理

2018年症例よりTNM悪性腫瘍の分類第8版（UICC）に変更されるため7版からの変更点や注意点等の情報交換を行う。

# 緩和ケア部会

〔平成29年度(2017年度) 活動報告〕

## 1. 緩和ケアにかかる地域医療機関との連携強化

- (1)大阪府がん緩和ケア地域連携パスの試行実施 と パスに対するアンケートの実施
- (2)緩和ケア・地域連携に関する研修や勉強会などに相互に参加

## 2. 緩和ケア(PEACE)研修会の受講促進

## 3. 緩和ケアの普及促進 ～医療従事者向けの研修～

## 4. 患者及び家族が心の悩みや体験等を語り合う場の提供

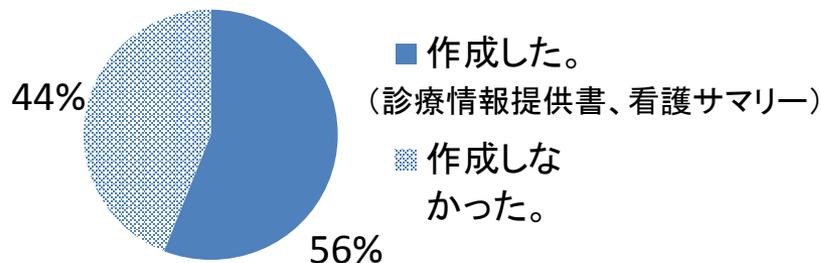
# 緩和ケア部会

## 〔平成29年度(2017年度) 活動報告〕

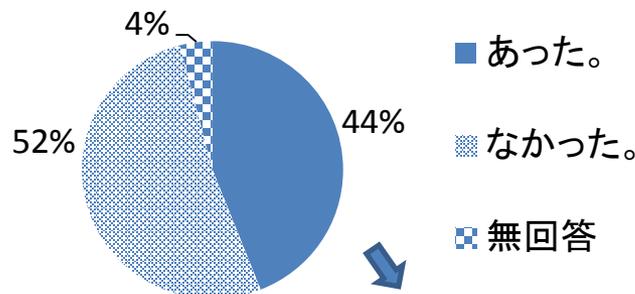
大阪府がん緩和地域連携パス試行実施アンケート結果 パス試行件数 14件

### 【アンケートA(がん診療(連携)拠点病院)】 回収数27件

パス以外の文書の作成をしましたか。



パスの情報シートの記載項目に、今までは情報提供をしていなかった項目がありましたか。



その他 改良点などご自由に記載ください。

(予後予測、予後告知の有無、病状説明に対する意向、療養場所の希望、後方支援ベッド、経済状況など)

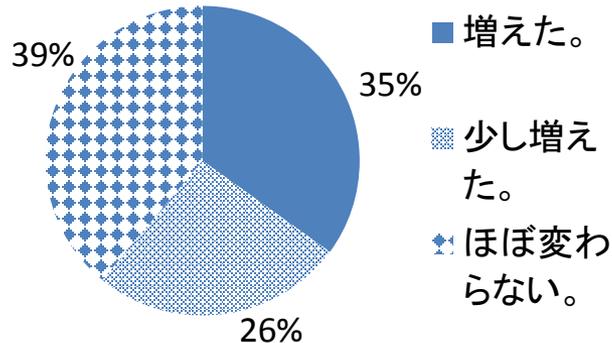
- ・家族の関係性、本人が大切に思っている事などが記載出来るように自由記載欄があると良い。
- ・患者・家族、患者と医療者間の情報共有がどの程度出来ているか確認できる良い手段だと思う。
- ・看護サマリーと重複している部分がある。

# 緩和ケア部会

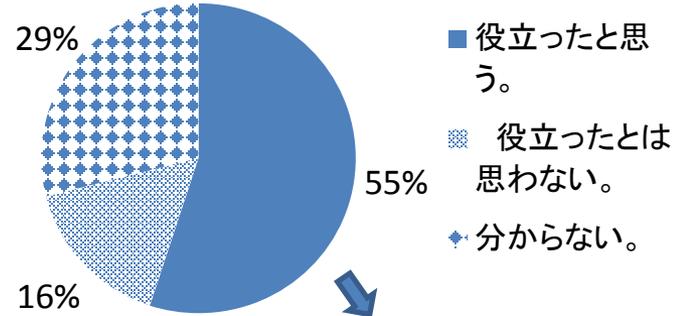
〔平成29年度(2017年度) 活動報告〕

## 【アンケートB(パス受取り施設)】 回収数31件

パス情報シートによって、従来の診療情報提供書に比べ、有用な情報は増えましたか。



パス情報シートは、患者さんの治療方針やケアに役立ったと思いますか。



(予後予測、病状説明に対する意向、告知や説明について、今後について、経済状況など)

パス情報シート全体について、ご意見・ご感想がありましたら、ご記入ください。

このパスを作成するのに要する労力は相当のものがあると思う。

ほとんどの情報は紹介状や看護サマリーなどで十分拾える情報なので、作成の労力に見合うだけのメリットはまだ感じない。

とはいえ開始したばかりなので、もう少し推移を見守っていきたい。

各主治医がこのようなパスの作成に携わることで、在宅側でどのような情報を必要としているのかを知ってもらい、今後の紹介状がより中身の濃いものになる可能性があれば素晴らしいと思う。

# 緩和ケア部会

〔平成29年度(2017年度) 活動報告〕

## 2. 緩和ケア(PEACE)研修会の受講促進

圏域内の各拠点病院の受講対象者数、定員、目標達成に向けた取り組みについて集約し共有した。

圏域内の初期研修2年目から初期研修修了後3年目までの医師	281人
圏域内で開催の研修会の定員	229人

## 3. 緩和ケアの普及促進 ～医療従事者向けの研修～

緩和ケアに係る医療者向けの研修会を各病院で開催し、情報共有した。(一部には大阪府補助事業を活用)

市立豊中病院 緩和ケア勉強会  
「日本緩和医療の最先端と最前線」



## 4. 患者及び家族が心の悩みや体験等を語り合う場の提供

各拠点病院で開催するがんサロンについて、昨年度作成したがんサロンの開催一覧などにより患者さん・ご家族への周知に努めた。

# 緩和ケア部会

〔平成30年度（2018年度）活動目標〕

## 1. 緩和ケアにかかる地域医療機関との連携強化

- (1) 大阪府がん緩和ケア地域連携パス情報シートの改訂
- (2) 地域連携を目的とした研修や会合等へ相互参加
- (3) 部会への訪問看護師の参加検討

## 2. 緩和ケア研修会の受講促進

- (1) 受講対象者の把握と各施設の開催予定や受講促進の取り組みの情報共有
- (2) 地域の医師、多職種への部会メンバーを通じた広報

## 3. 緩和ケアの普及促進

緩和ケアに係る医療者向け研修会を各病院で開催する。

## 4. 患者及び家族が心の悩みや体験談を語り合う場の提供

がんサロンの開催一覧ポスターの有効性の検証

# がん検診情報部会

〔平成29年度(2017年度) 活動報告〕

## 1. がん教育の推進

各市町がん検診担当課から各市町教育委員会への働きかけ、小中学校でのがん教育出前授業や研修会への講師派遣を行った。

豊中市	市立中学校への出前授業(生徒、教職員、保護者等参加)の実施 教職員向け研修会への講師(医師)派遣
箕面市	市立小学校6年生への出前授業の実施
池田市	市立小学校4年生への出前授業の実施
吹田市	中学校では保健・体育科生活習慣病で詳しく取り扱った。
豊能町	小学校では保健指導(全学年)の実施、理科でがん細胞の成り立ちについて取り扱った。 中学校では3年生の保健・体育科生活習慣病で詳しく取り扱った。
能勢町	小中学校への思春期教育の中で、がん教育に取り組むよう検討していく予定。
その他	大阪府から協議会事務局への依頼により、私立中学校への出前授業を行った。

# がん検診情報部会

## 〔平成29年度(2017年度) 活動報告〕

＜梅花中学校へのがん教育出前授業＞

大阪府から協議会事務局への依頼により、私立中学校への出前授業を行った。

講師：市立池田病院 消化器外科部長

太田博文先生

(がん検診情報部会 リーダー)

対象：中学3年生、一部看護過程選択の高校生

がん教育で生徒へ伝えたかったこと

- ◆生徒に大人になった時に検診を受けようと感じてもらうこと
- ◆生徒から家族に検診の大切さを伝えてもらうこと

## 2. がん手術件数の定義の統一

病理学的に確定診断した症例について、切除目的とした手術件数を現況報告や指定更新で報告すると結論した。

## 3. がん医療公開講座について

今後の開催に向け、方向性等について検討した。

# がん検診情報部会

〔平成30年度(2018年度) 活動目標〕

## 1. がん教育の推進

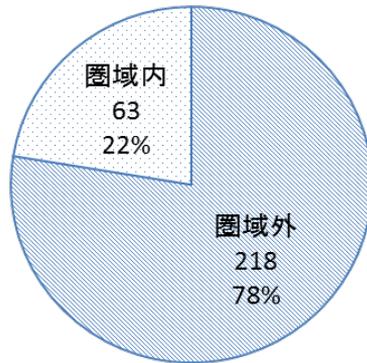
- (1) 児童・生徒向けがん教育出前講座、及び教職員向けがん教育に係る研修会への講師派遣を継続実施
- (2) 各市町の検診担当課から教育委員会への働きかけを強化し、連携を図ることによりがん教育の実施に繋げる。

## 2. がん医療公開講座の企画

効果的な啓発に繋がる公開講座の実施に向け、がん種の選択、ゲストスピーカーの選定、実施時期、また各団体による予算確保等事業計画を立案する。



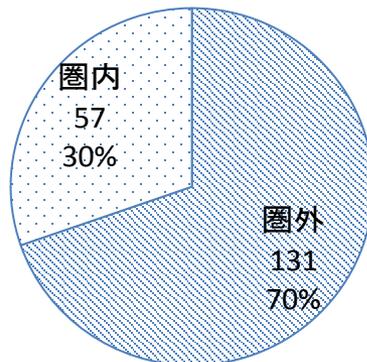
a. 豊能医療圏の各拠点病院が、セカンドオピニオンを受けた件数  
(紹介元の地域別)



【主な紹介元医療機関】

大阪医科大学附属病院(14件) 淀川キリスト教病院(14件)  
市立吹田市民病院(11件) 北野病院(10件) 市立豊中病院(10件)  
関西医科大学附属病院(10件) 市立池田病院(10件)

b. 豊能医療圏の各拠点病院が、他の医療機関へセカンドオピニオンを依頼した件数  
(紹介先の地域別)



【主な紹介先医療機関】

大阪大学医学部附属病院(45件) 大阪国際がんセンター(38件)  
北野病院(12件) 大阪医科大学附属病院(7件)  
刀根山病院(5件) 京都大学医学部附属病院(4件)  
大阪市立大学医学部附属病院(4件)

圏域内での連携より隣接する圏域からの紹介が多く、その主な病院も特定できた。  
圏域内より、特定の圏域外病院に、当圏域のセカンドオピニオンの状況を知ってもらうことも一つの手段と思われた。  
リーフレットを活用したセカンドオピニオンの周知活動については、圏内外の医療機関の協力やホームページの活用により、一定の成果を得たとして、取組みを終了する。

# がん地域連携部会

〔平成29年度(2017年度) 活動報告〕

## 2. リハビリテーションチーム

エビデンスに基づいたがんリハビリテーションの提供の推進

医療従事者向けの講演会を実施

と き	平成30年(2018年)1月13日(土) 14:00~16:00
ところ	千里阪急ホテル
テーマ	がんのリハビリテーション最前線 エビデンス&プラクティス
講 師	慶應義塾大学医学部 腫瘍センターリハビリテーション部門長 リハビリテーション医学教室 准教授 辻 哲也 先生
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ がんリハビリテーションの必要性・有用性</li><li>➤ リハビリテーション全体の流れ及び部位別・臓器別、時系列でのエビデンスに基づいた実践</li></ul>



# がん地域連携部会

〔平成30年度(2018年度) 活動目標〕

## 1. リハビリテーションチーム

がん患者リハビリテーションの啓発と、豊能圏域でのがん患者リハビリテーションサービスの均てん化

(1) 各施設で行われている具体的取り組みの、実績データ(部位別・年齢別・期間等)を収集し、情報の共有化を行う。

(2) 収集されたデータを基に、各施設の特徴をまとめ、関連職種及び当事者への助言情報としていく。

## 2. 新たに、がん地域連携部会で取り組む課題(チーム)の検討

# がん研究部会

## (1)小児がん対策

### ● 小児がん診療に関わる医療機関ネットワークの構築

阪大病院は、大阪府内のがん診療連携拠点病院等と連携し小児がん患者の診療に取り組んでいる。特に骨軟部腫瘍、脳腫瘍、網膜芽細胞腫、肝移植の必要な肝芽腫については大阪府内から患者が集積しており、小児科、小児外科、眼科、整形外科、脳神経外科が連携して治療にあたっている。また、近畿若手小児血液クラブを組織し、若手医師の教育も行なっている。小児がん経験者のための長期フォローアップ外来にも力をいれており、がんになっても一生を通じて質の高い生活を送ることができるように多職種による支援をおこなっている。

## (2)骨髄移植および臍帯血移植の推進

### ● 骨髄移植および臍帯血移植の現状

造血幹細胞移植の件数は年間平均28件（直近3年）である。移植の幹細胞ソースとしては血縁、骨髄バンク、臍帯血のすべてに対応している。特に骨髄バンクからの移植が多く約2/3を占めている。

# がん研究部会

## (3)がん研究の推進

- **多施設臨床研究の推進（特定非営利活動法人SCCRE（エスキュール））**

がん臨床研究を実施する7つの研究会（消化器がん、乳がん、肺がん、泌尿器系がん、骨髄腫等）を支援している。

- **臨床研究中核病院**

平成27年8月に臨床研究中核病院の認定を受けた。質の高い臨床研究支援のために更に未来医療開発部を整備する。

- **がんゲノム医療中核拠点病院**

「がんゲノム医療を総括する部門の設置」として、がんゲノム医療センターを設置し、平成30年2月16日付でがんゲノム医療中核拠点病院に指定された。

# がん研究部会

## (4) 先進医療の推進

### ● 以下の先進医療を現在実施中である。

1. 腹腔鏡下広汎子宮全摘術（先進医療 A）
2. パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法（先進医療 B）
3. 周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法（先進医療 B）
4. 11C 標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 頭頸部腫瘍（先進医療 B）
5. 放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法（先進医療 B）
6. 11C 標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断 初発の神経膠腫が疑われるもの（先進医療 B）
7. 急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定（先進医療 A）
8. 術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法（先進医療 B）
9. テモゾロミド用量強化療法 初発時の初期治療後に再発又は増悪した膠芽腫（先進医療 B）
10. 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術（先進医療 A）

## (5) 人材育成

### ● がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（大学院）

26名が在学中（薬物療法、放射線治療、緩和医療、外科治療、放射線物理、細胞診、がん看護等）